

「北風」 なぜ行かない？

宿屋の亭主 なぜと行って……

「北風」 これをやるから持って行け。(宿屋の主人のまえへ棒っ切を投げだす)

宿屋の亭主 これは？

「北風」 楡の木だ。——それをまえに楡の木のあったところへ植えるがいい。

宿屋の亭主 (不足らしく) こんな棒っ切を？

「北風」 いやならよせ。

宿屋の亭主 い、いいえ、けっこうでございます。

「北風」 よければ持って早くかえれ。

宿屋の亭主 かえります。——かえりますが、しかし……

「北風」 ええ、早くかえれ。

風、強くふく。——宿屋の主人、あつというまもなく、くるくるとまわりながら退場。——かえります、かえります、と、あわてていう声をあとに残して……

「北風」 子ども、出てこい。(ブウツ、出てくる) みろ、あれを……

ブウツ (不平らしく) どうしてあんなやつに楡の木をべんしょうしてやったんです？

「北風」 あれはただの棒っ切だ。

ブウツ ただの……？

「北風」 あいつの持っている分にはそうだ。——なぜなら、あいつはあの魔法の棒の使い方を知らない。……

ブウツ 魔、魔法の棒なんですか、あれ？

「北風」 おまえにその使い方を教えてやる。——あの棒にむかって「横になれ！」——ただその命令すれば、いいのだ。そうすれば、すぐ、そのとおりになる。……

ブウツ そのとおりに？

「北風」 そのとおりに横になる。——横にねるんだ、それが。……

ブウツ (ふに落ちないように) 横に……？

「北風」 早く行け。——行けばわかる。……

風、強くふき出す。——ブウツ、そこにひれふす。

雪、はげしくふってくる。